

市立千歳市民病院でCOVID-19治療を受けられた患者さんへ

研究課題

「第4波、第5波のCOVID-19治療からみた抗体カクテル療法の早期導入の有用性について」

- 1 **研究機関** 市立千歳市民病院薬局薬剤科、診療部内科
2 **研究責任者** 薬局薬剤科薬品管理係長 瀧澤昌司
共同研究者 診療部内科医長 國崎 守、診療部内科医長 大橋洋介、
3 **研究目的** COVID-19治療において、カシリビマブ・イムデビマブは、軽症から使用することで、重症化の抑制と症状消失までの期間短縮が示されている。そこで、市立千歳市民病院での使用経験からも同様なことが言えるかを過去の使用歴から、入院日数と抗体カクテル療法導入時の発症日の関係性に基づいて後ろ向きに検証する。また、第4波は第5波に比べて重症者が多かった背景から、第4波における入院治療者の重症予測値を東京大学病院の「COVID-19重症度予測サービス」を用いて算出し、重症化に繋がったリスク因子やマーカーを後ろ向きに検証することで今後の医療・看護に役立てたい。

4 研究の方法

(1)研究対象者

2021年5月17日から2021年10月21日まで、市立千歳市民病院において、COVID-19治療を受けられた方を対象とします。

(2)研究実施期間

本研究の実施許可日～2022年5月31日（予定）まで

(3)研究方法（使用する試料、情報）

電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。

重症予測値は東京大学病院「COVID-19重症度予測サービス」（無償）を用いて算出します。利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報には削除致します。

5 外部への試料・情報提供

本研究で用いる試料・情報を他の研究機関等に提供することはありません。

6 研究成果について

本研究の研究成果は、学会等で発表を予定しておりますが、氏名や住所等の患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

7 利益相反について

本研究に関して、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

8 問い合わせ・連絡先

本研究についてご質問がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの試料・情報が本研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはいたしませんので、下記の担当者にお申し出ください。試料や情報の使用を断られても、患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に情報の解析や研究発表等の後となり、当該措置が困難な場合もございますので、ご了承をお願いいたします。

市立千歳市民病院薬局薬剤科

研究担当者 薬剤係長 瀧澤 昌司

〒066-8550 北海道千歳市北光2丁目1-1

連絡先 0123-24-3000（平日：9時～17時）